令和３年度使用中学校用教科書の採択結果

令和３年度から、市内各中学校で使用する教科書は次のとおりです。

種目	採択結果	教科書名	理由
国語	教育出版	伝え合う言葉 中学国語	国語科の視点から国連ＳＤＧｓを教材化していることにより、道徳科をはじめ、他教科との教科横断的な学びができるように配慮されているため。
書写	教育出版	中学書写	書籍の帯やポップの作り方、案内状の書き方、社会の横書きノートや、理科の植物観察レポートなど、書写の学びを他教科や日常生活に生かすための工夫がされているため。
社会（地理的分野）	東京書籍	新しい社会 地理	１単位時間の構成は、「導入資料」から「学習課題」、本文、課題を解決する流れになっており、思考を整理しながら、段階的に学びを深められるようになっているため。
社会（歴史的分野）	東京書籍	新しい社会 歴史	単元ごとの学習の流れが明確に把握でき、歴史に対する「見方・考え方」が適宜設けられており、主体的に学ぶ力を養いながら学習に取り組めるようになっているため。
社会（公民的分野）	東京書籍	新しい社会 公民	「文化」、「経済」、「人権」等の具体的な事例を取り上げ、写真や統計資料を活用しながら国際理解・国際交流について学ぶことができるため。
地図	帝国書院	中学校社会　地図	五街道を表す鳥瞰図を示したり、日本の統計資料に少子高齢化を表す項目を設けたりするなど、歴史的分野や公民的分野でも活用できる工夫がされているため。
数学	啓林館	未来へひろがる 数学	「数学的な見方・考え方」を、学習者が振り返り顕在化することで、未習を既習に持ち込むという「文脈に依存しない見方・考え方」へと高めていくことができるため。
理科	東京書籍	新しい科学	節の構成が「問題発見→仮説→実験・観察→考察→新しい問題発見」のように、問題解決の過程が一貫され、学習を進める中で生徒の問題解決の資質・能力が育成されるため。
音楽（一般）	教育芸術社	中学生の音楽	教室場面を想定した生徒達の発言や教師の助言が吹き出しで示されており、自分の考えを広げたり、深めたりすることに繋がる工夫がされているため。
音楽（器楽合奏）	教育芸術社	中学生の器楽	世界の様々な楽器が取りあげられており、国際理解の視点から見ても、音楽科と他教科等の教科横断的な学習を進めることができるものになっているため。
美術	日本文教出版	美術	中学生に分かりやすい発想や構想の手立てを示しており、生徒の「やってみたい」という意欲を引き出し、自ら主題を生み出せるように、工夫されているため。
保健体育	学研教育みらい	中学保健体育	「まとめる・深める」では、「見方・考え方」が示されており、グループでの話合い活動や、自分の未来やキャリアを考える言葉等が示され、学習が深まるように工夫されているため。
技術・家庭（技術分野）	開隆堂	技術・家庭 （技術分野）	技術と生活や社会、環境との関わりについては、各界で活躍する人や企業を取り上げたり、特色ある活動の地域を紹介したりして、技術の興味を高める工夫がされているため。
技術・家庭（家庭分野）	開隆堂	技術・家庭 （家庭分野）	「話し合ってみよう」では、対話や意見交換ができる学習活動が取り入れられており、生徒自らの考えを広げたり深めたりできる工夫がされているため。
英語	光村図書	Here We Go!	各単元の「Part」の項目において、現実に即したコミュニケーションに近づけるための具体的な場面が設定され、実践的に学習に取り組めるよう工夫されているため。
道徳	東京書籍	新訂　新しい道徳	他国の人々の文化や習慣を尊重し、世界の平和と人類の発展に寄与しようとする態度を育てる教材となっており、社会科との関連を図ることができるため。